

## 22. 令和6年度大分県高等学校新人ボクシング競技大会実施要項

- 1 主催 大分高等学校体育連盟
- 2 期日 令和 6年 10月 19日 (土) 9:30 ~ スポーツエントリーチェック、終了後、健診・計量  
10:30 ~ 開始式  
10:45 ~ シヤドウボクシングの部  
11:00 ~ 競技開始  
10月 20日 (日) 9:30 ~ 健診・計量  
11:00 ~ 競技開始  
10月 21日 (月) 9:30 ~ 健診・計量  
11:00 ~ 競技開始  
(競技終了後に 閉会式)
- 3 場所 県立鶴崎工業高等学校多目的競技場ボクシング道場
- 4 競技規則 令和6年度(一社)日本ボクシング連盟高等学校競技規則による。
- 5 競技種目 (1)男子はピン級からミドル級までの8階級  
(2)女子はピン級からミドル級までの9階級
- 6 競技方法 (1)競技の部  
(1)個人選手権とするが、学校対抗(男子のみ)も兼ねる。  
(2)トーナメント方式で優勝・準優勝・3位(2名)を決定する。ただし3・4位決定戦は行わない。  
(3)得点規定については、下記の通りとする。  
ア. 抽選の不戦勝を除いて、1勝ごとに勝ち点1点を与える。  
イ. 優勝に5点、準優勝に3点を与える。  
ウ. 1回目の検診・計量で失格した者は、得点と順位は与えない。その場合、下位の者のランキング順位を上げ、順位得点該当の場合は、得点を与える。  
エ. 階級に1名のみエントリーの場合は、本県のボクシング連盟審判委員会決定し、認めれば認定優勝者として推薦し、順位得点を与える。  
(4)学校対抗順位決定方法は、下記の通りとする。  
ア. 個人得点の合計点で決定する。  
イ. 同点の場合は、チャンピオンの数による。  
ウ. ア・イが同等の場合は、2位の数による。  
エ. ア・イ・ウが同等の場合は、3位の数による。  
オ. エで決定しない場合は、同順位となる。  
(2)シヤドウの部  
ア.シヤドウボクシングを行い、「スピード」・「スタミナ」・「正確さ」で勝敗を決定する。  
イ.トーナメント方式で行い、2分1ラウンドで勝者を決定する。
- 7 参加資格 (1)「令和6年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
(2)令和6年度日本ボクシング連盟及び大分県ボクシング連盟に登録済みの者。  
(3)シヤドウの部は1年生(練習開始後1年未満の者)とする。
- 8 参加制限 (1)競技の部 ア.男子はピン級からミドルの8階級とする。  
イ.女子はピン級からミドルの9階級とする。  
ウ.各学校・各階級とも、2名以内のエントリーとする。  
(2)シヤドウの部 ア.1年生ならば各学校何名でも出場可能。
- 9 参加申込 (1)締切日 令和 6年 10月 4日 (金) 必着  
(2)方法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。  
ア. シヤドウの部・競技の部(男子)(女子)の各様式で作成し、各1部印刷・捺印して、下記に郵送する。  
イ. 承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名:競技/校名/監督名)  
\*大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。  
(3)宛先 〒874-0133 大分市葛木509 県立鶴崎工業高等学校内  
専門委員長 飯田 育夫 宛  
メールアドレス [jida-ikuo@oen.ed.jp](mailto:jida-ikuo@oen.ed.jp) <データ受付期間:10月4日(金)12:00必着>
- 10 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人、加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 「競技の部」のみ、男子は各階級2位まで、女子は各階級1位に九州新人大会の出場権を与える。
- 12 専門委員会 令和 6年 10月 12日(土) 13時~ 鶴崎工業高等学校ボクシング場
- 13 連絡事項 (1) 健診・計量10分前にスポーツエントリーチェック・点呼を行う、遅刻は一切認めない。  
(2) 参加選手は、総合検診記録、CT証明書、選手手帳、健康保険証、試合用具を持参のこと。  
(3) 競技出場のため検診医療費を、監督会議時に選手1名につき、2,000円を納入する。  
(4) 8名以上の参加申込のある階級については、予備日(10/13(日))に予選を行う。  
(5) 組み合わせ抽選は、専門委員会が県選手権大会優勝者、準優勝者を同一階級での出場時のみシードする方法に基づいて行う。  
(6) 参加申込後の階級変更は認めない。ただし、参加の取り消しはその限りではない。  
(7) セカンドについては、1名のチーフまたはサブセカンドは有資格者とする。アシスタントセカンドはその限りではない。  
(8) 競技者以外のマスク着用を認める。  
(9) セカンドは2名以内とし、それぞれ使い捨ての手袋を着用する。